

「ロータリー財団月間」によせて

地区ロータリー財団委員長
中村 公彦



毎年11月を中心に各クラブ例会へお邪魔してロータリー財団月間として卓話をする機会を頂きまして、感謝申し上げます。今年も地区内69クラブから

ご依頼を頂き、わかりやすくロータリー財団の仕組みを説明させて頂き、皆様に理解してうまく活用していただくことが私自身のミッションでもあります。財団月間の誕生は1964-65年度R I 理事会で11月15日を含む1週間を制定したことに始まります。その後1983-84年度にて正式に11月を財団月間として定めて現在に至っております。

今年も年次寄付一人当たり150ドル、エンドポリオ指定寄付に一人当たり30ドルをお願いしていますが、ロータリー財団はどのようにお金を使っているのでしょうか？ 2016-17年度年次報告・抜粋データより知ることができます。内訳は以下の通り。

ポリオプラス：1億800万ドル、グローバル補助金：7300万ドル、地区補助金：2600万ドル、プログラム運営：2300万ドル、寄付推進：2000万ドル、その他：900万ドル、一般管理運営：500万ドル、平和センター：500万ドルで構成されています。やはりポリオ撲滅には力を注いでおります。またロータリー財団の資金の91%を財団プログラムと運営費に使用、資金の82%を財団プログラムに使用されています。適正なお金が使われていることが分かります。

また今年度当地区ロータリー財団委員会はポリオ撲滅へ特に力をいれております。

先ずはなぜポリオ撲滅が必要なのか？ポリオ撲滅になぜお金が必要なのか？を理解していただき、協力を頂ければ幸いです。興味をもって知っていただければと思います。

ポリオ撲滅：

国際ロータリーは、世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI※）で中心的役割を担っています。皆様ブレスの映画を見ら





れましたか？見ることだけが目的ではなくロータリアンがポリオ撲滅に寄与していることを多くの人に啓蒙してほしいと思います。

あと少しまで来ているミッション（ポリオ撲滅）にご理解とご協力をお願いします。

※GPEIとは世界保健機関（WHO）・ユニセフ・米国疾病対策センター（CDC）・ビル&メリンダ・ゲイツ財団・世界各国政府。

最後になりますがロータリー財団月間での卓話で出向各メンバーがクラブ例会のお邪魔いたしますがご不明な点は何なりとお聞きいただきますので宜しくお願いします。